

授業科目	事例研究（地域福祉計画） Case Study (Social Welfare for Community development)			担当教員	韓 榮芝 実務家教員		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1・2 年/後期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							
<p>この事例研究は、地域福祉計画に焦点を当て、住民自治の立場から各分野の計画に関連する調査、立案、パブリックコメント募集・集積とその公正な取り扱い、そして実行及び評価についての基礎知識を基にして研究的に捉えること、さらに、地域福祉計画に付随する諸計画や法令、倫理的配慮や社会的責任について、事例を通して深く捉えることが目的である。</p> <p>そのため講義の内容は、佐世保市、平戸市、西海市における数名の地域福祉計画に関するキャリアを持つ「ゲストスピーカー」による発表を聴講し、地域福祉計画に関連する複眼的な視点を養えるように「討議する」ものとする。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	地域福祉計画の本質とは何かについて思考が持てる。			自ら探求する	10%		
思考・判断	ゲストスピーカーの発表を理解し、討議する思考・判断力を身につけることができる。			発表内容を理解する	10%		
技能・表現	ゲストスピーカーの発表内容を専門的な用語により、討議することができる。			発表内容を討議する力	10%		
知識・理解	地域福祉計画における本質的課題について発表することができる。			発表、レポート	70%		
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験は実施しない。レポートは、ゲストスピーカーの発表内容に関連したレポートを70%とし、ディスカッション等(30%)による内容を評価する。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>本講義は、ゲストスピーカーを講義に招き、地域福祉計画に関連した現状について事例紹介していただき、意見交換を行う。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：特に指定しない。資料を配布する。 参考書：事例に関する参考文献等は講義中に適宜紹介する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>講義外では、地域福祉の領域について、各自の問題意識との関連性を意識して、講義中に紹介する関連文献を読んで欲しい。また、一般的な講義形式とせず、指定した関連文献に対して事前研究・報告と、それに基づいた議論を深めることも院生に求めたい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	本講義の進め方の説明を受ける。	今後の日程について確認する。
2	地域福祉計画の概要①	総合計画をはじめとして、計画的な行政施策の体系について知る。	地域福祉計画について目を通して知る。
3	地域福祉計画の概要②	地域福祉計画策定におけるガバナンスと住民参加	住民参加の重要性の確認と各自の研究課題との関連を検討する。
4	地域福祉計画の内容 ① 実務家	S市市役所職員を招聘し、その発表内容について論議を深める。 (高齢者・障がい者分野の計画の内容について事例検討)	ゲストスピーカーの発表について行政政策の視点から深める。
5			
6			
7	地域福祉計画の内容 ② 実務家	A社会福祉協議会職員を招聘し、発表された内容について、地域福祉計画(活動計画)の本質に迫る議論を深める。	発表内容を復習する。ゲストスピーカーの発表について地域福祉の視点から深める。
8			
9			
10	地域福祉計画の内容 ③ 実務家	S市議員を招聘した上で講座を開講し、論議を深める。 (児童福祉分野などの計画の内容について事例検討)	発表内容を復習する。ゲストスピーカーの発表について政治政策的視点から理解する。
11			
12			
13	地域福祉計画策定の課題① 双方向	地域福祉計画への住民参加の現状 これまでのゲストスピーカーの発表を踏まえて討議する。	住民参加の具体化への理解と各自の研究課題との関連を検討する。
14	地域福祉計画策定の課題② 双方向	地域福祉計画への住民参加のありかた これまでのゲストスピーカーの発表を踏まえて討議する。	地域福祉の実践からの整理と各自の研究課題との関連を検討する。
15	まとめ	レポート課題を出すので、それについての最終的な議論をし、まとめていく。	これまでの発表資料を研究ノートとしてまとめていく。